

#### 4/22 講演会アンケートより

黒部氏の「避難ではなく移住を」「二度と帰れない」という言葉は、本来政府が発するべきものと考え  
る。その上で支援すべきだ。ゴメリでおこっていることは、これから病気の子どもが沢山生まれるとい  
う「悲しい前例」だ。何としても第2のゴメリ・チェルノブイリにならないようにしたい。こういう事  
実をもっと広く知らしめてほしい。事故がおこるまで原発に反対しなかった自分がバカだった。悔やま  
れる。(50代 女性)

チェルノブイリの被害が後の世代へ継がれてしまうことの恐さを知った。現在の福島の現状を「自分」  
で知りたいと思った。(20代 女性)

「困難の中の子どもたちへ希望を」代表ポホモワ・ワレンチーナ、オリガ親子の厳しい現実と闘いなが  
ら将来への希望をあきらめない力強い姿勢に感動した。そして自分のような孤独な人を作らない温かい  
気持ちに胸が熱くなった。チェルノブイリ汚染地の医師が言った言葉が心に響いている。「フクシマの  
子がチェルノブイリの悲劇をくり返してほしくない」と。フクシマの子がこれから病気で苦しむのを少  
しでもおさえられるよう、病気の子がなるべく少なくなるよう私たちに今出来ることは何か？国民全体  
で考える時だと思う。(50代 女性)

チェルノブイリ、日本の現状を詳しく伝えてくださってありがとうございました。知識も大事ですが、  
ポホモワさん、オリガさんが精神の強さを何度もお話されていたことが、私の心に大変残りました。  
広河さん、武藤さんのお話を聞いて、日本でも少しずつ動きが出ていることに私も勇気をいただきました。  
ありがとうございました。遠くから日本へ来て下さって、ありがとうございました。(30代 女性)

絶望 希望 チェルノブイリでの原発事故(影響対処等)を福島に生かしてほしいとポホモワさんオ  
リガさんらの講演でつくづく感じさせられました。日本はチェルノブイリから「何を」学んだんだ！！  
政治にイラつきます。(40代 男性)

足立区からの移住を迷っていたが、少しでも、子どもたちが辛い思いをする可能性があるなら、移住す  
るべきだ。と、決意が出来ました。(オリガさんの話を聞いてそう思いました。)他の方々の話も感動し、  
また、ためになりました。皆で協力しあって、日本を救っていきたいと思いました。色々な支援や、声  
を上げて行動に移していくことなど、頑張っていきたいと思いました。貴重な機会をありがとうございました。  
(30代 女性)

ワレンチーナさん、オリガさん共にチェルノブイリ事故から大変な思いをしながらもあきらめずに前向  
きに生きている姿勢に頭が下がりました。武藤類子さん、富塚悠使君、広河隆一さんの生の声を聞き、  
他人事ではなく、勉強をし、自分のできる範囲内で協力ができたらと思います。きちんとした情報、真  
実をみる目を失ってはいけないなと思います。(50代)

本日の講演ありがとうございました。私も20km圏内の被災者です。4日間避難所生活して東京にいま  
す。避難ではなく移住という言葉がとても重く受けとめました。(50代 女性)

ワレンチーナさんの言葉一言一言に勇気をもらいました。横浜市在住の2児の母です。ここで子どもを育てて大丈夫なのかどうか、日々悩みながら暮らしています。空間の放射線量は地面から1cm位の場所で0.06~0.08msvです。移住できればベストですが、移住先での仕事の問題等あり、難しいのが実情です。お水、食べ物に注意すれば、子どもを健康に育てられる望みはあるのでしょうか。(土壌汚染は100~200ベクレル/kgが平均のようです。)(30代 女性)

チェルノブイリの実態をくわしく知ることができました。原発事故の被害はその時の人達だけにとどまらず、子孫に重い被害を代々続いて残すという事がよくわかりました。チェルノブイリの今は、確実に日本の今後になるだろう!!という実感をえました。ですから、日本で、再び原発事故をおこしてはならないためにも原発の再稼働は許されない!!と強く思いました。(60代 女性)

チェルノブイリ事故から26年も経過する今日にあって現地で苦しんでいる人々の生の声を聴く機会を得たこと、本当にありがたく思います。痛みを知っているお2人から日本人への励ましもいただき感激しました。そしてまるで何事もなかったかのような日常意識をふっとばしこれからずっと起こるであろう福島や北関東での事象をしっかりと受止め、できるだけ予防や支援をしたいと思いました。(40代 女性)

初めてチェルノブイリ事故で被害にあわれた方のお話を聴くことが出来て良かったです。この機会を作って頂き感謝します。娘さまを守る為にはじめたことをこのような団体を作り20年以上続けているワレンチーナさんに尊敬の念を抱きました。武藤さんの今までのこと、これからのことを聞くことが出来、これから少しでも自分が出来ることをやっていきたいと思えます。広河さんの写真を見ながら(現場での)実際の話聞き“救援”ということがよく理解することが出来ました。(30代 女性)

ポホモワさんと、オリガさんのお話について、思っていた以上に詳細な事実経過、心情の変化を聞くことができて、これから日本でも起こるだろう事態への心構えができました。具体的に個人として何が出来るのか良い機会を得ることができました。広河さんのお話について、哲学者の「福島と沖縄、犠牲のシステム」をとりあげたことについて。私自身もこれを拝読しましたが、自分がある犠牲の下に(あるいは上に)存在していると考えては今まで生きてこなかったことに気づかされています。ただ、気づいたからといって、「では、何が出来るのか」という問いへの答えはまだ見つかっていません。(40代 男性)

第1部:ポホモワさんとオリガさんの話を聞いて私も一母親として心が痛みました。基金のニューズレターを読んで知ると直接お話を聞くのと大きな違い(ショック)があると思えました。

第2部:武藤さんのお話、自分の微力でも一緒に頑張っていきたいと思えました。富塚君のメッセージ、元気なメッセージありがとう。大人としてやれるだけの責任を果たしたいと思えます。広河さんのお話、いつもいてねいに、それでいて心静かに説明して下さいありがとうございます。自分の出来ることを小さくても頑張ります。広河さんもお体に気をつけて。(60代 女性)

ポホモワさんのベラルーシの子ども達の健康被害の実情がとても衝撃的でした。こういう情報をもっと

日本のマスコミは伝えるべきです。ポホモワさん、仲間のお母さん達のあきらめない頑張りの力に感動し、オリガさんを守ってきたことにとっても感動しました。支援の重要性も感じました。日本の子どもたちへの危機感をもっと認識すべき。(一方であきらめてはいけないことも)ポホモワさん達が住む地域は、汚染度は日本のどの地域と同じ位なのでしょうか。他人ごとではないのですから。(40代 女性)

保養所の存在とその重要性について知ることができて良かった。今までその存在についてすら知らなかった。富塚くんのスピーチがとても良かった。「火力発電はお金がかかると言うけれど、命の方が大事じゃないんですか？」まさにその通りだと思います。そんな当たり前のことを、きちんと発言して行動できる国になるよう、自分でも微力ながらできることに取り組みます。ありがとうございました。(30代 女性)

どれだけ大変であっても、現実をしっかり向き合う事の大事さを強く感じます。社会的に許されない公的な無責任体制を少しずつ変えていかなければならないでしょう！でも何よりも優先されるべきは具体的な支援だと思いますので、出来るところから進めて行きたいと思う。(60代 女性)

チェルノブイリで起きたことまだ現在も続いている被害の現状を知り、今後私がやっていかなければならないことが良く分かりました。このような機会をもうけてくださり、また、貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。(20代 男性)

ワレンチーナさんのお話を聞いて最近生まれてくる子どもにもまだ影響している事に驚き、恐ろしくなりました。オリガさんにどうか無事に健康な赤ちゃんを産んでもらいたいです！広河さんの話を聞き、放射能がいかに恐いか、子どもたちの未来のために何をすべきかを突きつけられた気がします。今までTVと新聞の中だけで！他人事となってしまう事がぐっと近くなり、考えさせられます。(30代 女性)

原発のことをよく知れて、実際に体験されたり、見に行っている方々の話を聞くことができて良かったと思います。原発と人が暮らす町があんなに近いという現実をはじめ実感しました。まだ学生で、たいしたことはできませんが、自分にできること、将来の国、人、自身の姿をもっと深くあらゆる見方で考えたいと思います。(10代 女性)

ポホモワさんの報告・講演がとても感動的でした。チェルノブイリ原発事故からの継続的な支援活動に感銘を受けました。(60代 男性)

ありがとうございました。心のこもった真実の訴えをききました。これから希望を紡いでいく仲間に入れて下さい。私もささやかですが保養プランをつくろうとtryしてきました。やっとどうにか動き始めるかというところです。私の18才の息子がお母さんは広河さんのこのprojectのお手伝いをしたらと何度も言うので今日は参りました。(50代 女性)

報道にまどわされない真実を見る眼を養うために、このような講演会に参加したいと思います。この会がそのきっかけになりました。ありがとうございました。(60代 女性)

亡くなった子どもたちのことを思うと、胸が挟られるようです。チェルノブイリの子どもたちはそのまま未来の福島の子どもの姿です。原発事故に何の責任もない子どもたちのために、働きたいと思います。ポポモワさん、オリガさん、貴重なお話をありがとうございました。佐々木さん、通訳、ありがとうございました。「福島原発訴訟団」の設立、心から賛同いたします。武藤さん、お話ありがとうございました。私は3.11以来、日本人であることを恥じています。悠吏くん、すばらしいメッセージ、ありがとう！！元気が出ました。広河さん、「球美の里」の設立、ありがとうございました。(50代 女性)

これからの日本や世界がどうなっていくか、自分にも責任があること、できることがあることを感じました。保養センターの設立、支援していきます。(20代 女性)

書物だけでは思いは伝わらないこともあり、本日の講演会に来てよく分かった。ポポモワさん、オリガさんの前向きな姿、武藤さんの報告に驚き、富塚君の未来を変えるという力強いメッセージに力を得たし、こういうことを子どもに言わせるこの国のあり方に腹が立つ。政府、学者、財界、マスコミ...正義はあるのか。広河隆一氏のスライド講演は鬼気迫るものであった。スローデスに向かう被曝者たち。フィルムは深刻な事態を映し出していた。これから私たちがどう闘うかが問われる。(60代 女性)

ゼレンケヴィチ・オリガさんと双子のアレーシアさんは今はいかがなのでしょう？様子を伝えていただきたかった。(お話の途中で家族の写真で安心)。でも健康は？なぜサナトリウムなどへの保養が削減されたのでしょうか。(60代 男性)

ベラルーシは原発建設を予定しています。この国に矛盾を感じています。広河氏はどうとらえていらっしゃるでしょうか？(60代 女性)

直視したくない現実をたくさん知ることができました。ありがとうございました。保養センターの協力はぜひさせてください。自分は月に4回、いわき市内の仮設住宅に行っています。広野町、大熊町から避難してきている人たちにそのことを知らせたいです。(30代 男性)

チェルノブイリと福島の間にはかなりちがいがいると思います。私は広島の子被曝者です。小児科医師で研究者でした。チェルノブイリの後の頃にはベルリンにいました。地球は仕事で2分の1は行きました。現在のチェルノブイリが見たいとこのようなアンケートに3回以上書きました。可能な時には教えてください。質問を受けないということは、これが広がると日本には民主主義がなくなります。もうすでに変な国となっていますが。(70代 女性)

5月5日に必ず「0」となるよう、いろいろな行動をしています。(60代)

自分の無知さにただただはずかしい限りでした。少しでも力になれること、できることをやっていきたい。(30代 女性)

とても良い内容で、たくさんのお話を学ばせていただきました。これからも積極的に参加したいです。

ありがとうございました。(無記入)

福島の実況、また、すぐにでも行動すべきことがよくわかりました。「沖縄・球美の里」に協力させていただきます。昨年3月11日、すぐに福島県知事に提言いたしました。しかしなかなか子どもたちを守るという実動には至らず、悩んでおり、今回の子ども保養センター誕生は本当に待ち望んでおります。(60代 女性)

とてもよい構成でした。ありがとう。成功させましょうね。久米島の球美の里、応援します。(50代 女性)

チェルノブイリ放射能の被害者で闘い続け、生活・未来を共に切り開いている親子の話は具体的で前向きなその粘り強い活動に感動しました。まさに終りのない活動を希望を持ってやり続けていくベラルーシの方の精神力に心を打たれました。政治は今や国会議員・政治家任せではなく、未来に生きる小中高生が中軸になって意見を述べ、それが反映できたなら良いと思いました。(60代 女性)

ワレンチナ・オリガ女史の話、武藤さんの話、悠吏さんの言葉、聞いて良かった。あまりにも大きな負の遺産を将来の子どもたちに押しつけてしまったことを実感しました。最近「チェルノブイリの祈り」という本を読んでいます。3.11後、言葉の一つ一つが真実味を帯び、読んでいて涙で前に進めない時があります。広河隆一氏の写真と「球美の里」のお話し、今後も微力ながら応援させていただきたいと思いました。(30代 男性)

「健康増進法」が自己責任論を背景に作られたことから、福島及び近隣で今後生じてくる健康被害について、「原発とは関係ない」で済まされるのではないかと心配です。見越したような法律ではないか?!と。それでなくとも責任回避をもくろんでいる東電政府。知らせなかったにしても強制避難させた旧ソ連の方がまだましだったのでは?脱原発も決意できない現状から不安ばかりが膨張します。26年前の教訓を受け入れて対策すべきところなのに。民間しか頼れないなんて、団塊世代に担ってもらえない!あくせく自分の生活維持が精いっぱい人間ゆえ。久米島の保養所計画に魅かれました。広河さんの沖縄の“犠牲”に思いをいたせの言葉に引き締まり、放置してある「犠牲のシステム」を読み通そうと思い、少額ながら支援募金しようと思いながら帰途につきました。(50代 女性)

昨年ベラルーシ出身の歌手の声とメロディーに元気づけられてチェルノブイリ事故を初めて身近に感じられました。先月、いわき市に行き久之浜の惨状の中を歩き(ガレキは撤去済で、これから住宅の工事がはじまる土地のようだ)堤防の決壊が恐ろしさを伝えていました。浜から見えた原発もかすかに…。対立することをなるべく(甘い)理不尽な理由や経済活動(手前勝手に偏った)の力でねじふせられることのないように弱い立場の仲間にあたたかい風が吹きますように。尊い犠牲者の命に(合掌)3/16の11ミリシーベルト。大事故であり恐ろしいと思う。(50代 女性)

昨年のチャリティコンサートで「福島元年」という言葉に大きな衝撃を受けましたが、原発事故の今後の影響にますます不安を感じています。すでに活動をスタートしている「未来の福島こども基金」にこれまでの「チェルノブイリこども基金」での経験が活かされているのを感じました。今後も子どもや母

親たちの大きなよりどころとなる素晴らしい活動になるかと思います。地元や市民の方と、自治体や国との考え方や支援に対してのかい離はありますが、今後の活動についても応援していきたいと思います。  
(30代 女性)

問題を”自分のこと”としてとらえる。 現実を明らかにすること(隠されている情報、健康被害、環境汚染、動植物の異変、都合の悪い数値の改変、マスコミの壁、これをすり抜ける方法、本当の味方となる人材) その情報を多くの人が共有すること。広めること。 支援できること(食品の安全性を測る、保養の手助け、精神面のケア)目的(命を一番に考える)を一致させて実際に動くこと。 信頼できるパートナーを見つける。つなげること。以上の思いを強めた講演でした。微力でも動きたいと思います。  
(50代 女性)

球美の里、応援しています。日本と沖縄の歴史を無視せず、進めてゆくと記されていて、とてもたいせつなことだと感じました。丁寧に進めることで着実な活動をされているのだと思いました。思考停止や逃亡、無力感がゆえてしまうのでしょうか、そうならぬよう、希望をもてるよう、自分も気をつけていきます。(女性)

現実感の強い納得できる内容だった。(60代 男性)

福島でのこの事故がなければ原発について深く考えることもなく、他人事のままだったであろう自分を恥じています。このような事態を前向きに考え、行動していきたいと改めて思う日々です。(40代 女性)

地球ある限り悪を追放し安全な生活環境を求めなければならない。(60代 女性)

皆さんのお話が感動的で有意義でした。ますます東電、国、県の犯罪性を認識しました。子どもたちを救うためにできることをやります。(60代 男性)

チェルノブイリの問題、今、福島が抱えている問題がよくわかりました。このような話をもっともっと多くの人々に聞いてほしいと思いました。私は友人、知人に今日の話を中心に自分でまとめて広めていきたいと思います。沖縄の久米島に「沖縄の球美の里」を建設するということが大賛成です。できる限り支援し、またその支援も友人たちに呼びかけたいと思っています。最近福島の飯館村のことを知り、本当にすばらしい村を手放し、避難なさっている方々の苦悩を感じています。原発の反対とともに福島の人々の未来を日本国民全体で考えるべきだと思います。政府はあてにならないし、信用できない!!  
(50代 女性)

観る前はいつもコンサートなのにと感じていましたが、ポホモワさんのお話をゆっくり聞くのもよいですね。(40代 女性)

生の声(チェルノブイリ被害者)を聞いたのはとても良かった。(60代 男性)

今の状況がわかり、大変良かったと思います。私に何ができるのか考えていこうと思います。(60代 女性)

はずかしながら 3.11 のあと初めて原子力発電所の存在を知り、その罪滅ぼしになるべく多くの集会に参加してその実情を知るようにしています。福島が(3.11の郡山での集会)気に入り、私一人行ってまいりましたが、私にできることを微力ながらしていくつもりです。今日の集会も、とても参考になりました。(70代)

保養プログラムについて、もう少し詳しく知りたかった。1週間だけでも効果があるのか、3週間は必要か、保養内容について(マッサージなど)。しかし全体としてよい集会だった。特に武藤さんと富塚君のメッセージは心に残った。(50代)

原発の危険さについて、様々なことを知ることができてとても良かったです。またこのような機会があれば参加してみたいと思いました。今回知人からこの講演会のことを聞き知ったのですが、もっと宣伝すればたくさんの方が来たのではないかな、と思いました。(20代 女性)

今後も注視してゆきたいと考える、意義のある機会となりました。(20代 男性)

国の力はどうなっているのでしょうか。ベラルーシのお二人から、チェルノブイリ事故後の取り組みは日本がとり入れるべき。希望につなげたい。沖縄の保養所計画、うれしく思いました。子ども達の将来のこと、私達の力で少しでも良い方向に向かうよう、基地のこと、良く考えてほしい。広河さんの話もすばらしかった。(60代 女性)

大変参考になりました。(60代 女性)

ポホモワさん親子の実際のお話を聞くことができて良かった。本や映画だけではなく、目の前で肉声をお聞きできて現実に生きて闘っていらっしゃる様子に感動した。(こういう機会は、上京して来なければ、地方の小さな場所に住んでいるとなかなか経験できないので。)空気もよく災害もないところなので、福島から逃れてきていらっしゃる方も何十人かいるらしい。日本ではニュース等で、除染除染と毎日言っているが、ただ水で流して、その汚水はどこへ行ってどういう影響があると、ほとんど言及していないことが本当に不思議だ。沖縄「球美の里」を支援しようと考えています。すばらしいアイデアだと思います。ぜひ早く実現させていただきたい。一人の女子中学生の学習支援をしています。続けたいと思います。(60代 女性)

チェルノブイリの事故にあった当事者の方(母娘)のお話に涙するばかりでしたが、それでもその涙の中には過酷な状況でも力強く生き抜く人の姿勢に感動するものでもありました。(70代 女性)

原発再稼働は絶対やめさせよう。被災した福島の、そしてすべての人々と手をつなぎ、国と東電が被曝させるがままに放置していることを止めさせよう。(60代 女性)

広河さんのトークだけでしたが、この深刻さが十分すぎるほどに伝わってきました。小さな命が捨てられる世ではいけないと思います。(40代 男性)

私も何かしたいと強く思いました。ありがとうございました。(50代 女性)

特にオリガさんの自身の経験から甲状腺ガンの20年経ってもひどい病状、おどろきました。そして転地サナトリウムに行くと良くなるということは、汚染された地区は人が住めなくなるというのが本人の口から云われると愕然としました。福島の県知事や該当地区の町、村長は帰って来いとは云えないのではないか。(70代 男性)

チェルノブイリの経験、特に小児ガンについては、福島県の行政に生かしていくべきだと痛感しました。県は、国は、正しく判断できるのでしょうか?大変疑問に思います。(60代 男性)

とても参考になる講演会でした。ありがとうございます。今後、保養が必要になってくると重くうけとめました。個人個人が立ち上がって声を出していかないと状況は変わらないと思いました。(30代 女性)

ワレンチーナさん、オリガさん、ありがとうございました。困難の中で前向きに生きていくことを可能にしていくのには福島の若い親、若い人たちに「福島差別」への不安があることを自主避難の人たちの話から感じています。結婚差別が起きているという話も聞いています。「差別」と向き合い、許さないために福島の人々とともにできることは何なのか。ベラルーシではそのようなことはなかったのか、もしあったらどう克服していったのか知りたいと思いました。広河さんの姿勢に感銘を受けました。(60代 女性)

体に元来備わっている機能を調整・向上させる東洋医学はどの程度活用されているのだろうかと疑問に思いました。WHOでも効力が認められているそうですが、実際に歩けない人が歩けるようになった事実を体験したものとしては西洋医学単独の限界を感じます。(20代 男性)

週刊誌でそのお名前を知ってより、一度直接お話しをお聴きしたいと思い、大阪から来たものとしては、あまりにも短い時間しか用意されていないしそのことにガッカリしました。武藤さんのことです。(略) 富塚君それにしても場慣れしたような話し方で、いまだきの子どもなんだろうなと思いましたが、力強い内容に、負けられないと元気をもらいました。(50代 男性)

ポホモワさんのとなりに座っていた女性が、大変な困難をのりこえて生きてこられた娘のオリガさんと知って驚きました。たくさんの人々のつながりが、一人でも多くの生命を救えたら…。広河さんのご活動を、今回初めて知ることができました。広河さんの熱意がまた多くの人を動かし、人の輪を広げるのですね。私も3.11後、自分にもできることは、と考えていましたが、思いついたことからとにかくやっいていこうと思います。(50代 女性)

現地報告(ポホモワさんの報告も含め)には息を飲む。(60代 男性)

子どもたちの保養地に自然環境が似ている、私の住んでいる諏訪にもどうだろうかと思いました。(温泉療養あり)(50代 女性)

チェルノブイリの現地の人のお話が聞けてよかった。(50代 男性)

今日のお話も、いろいろな面からうかがえてよかった。広河さんの行動、精神に心が動く。今日はしずかに、しかし強く話されましたが、くれぐれもお体に気をつけ、皆を引っばって。私も出来ることをやります。(60代 女性)

チェルノブイリの現地の人のお話が聞けてよかった。救援運動の経験から、被ばくした子どもたちが将来発症することを防ぐために保養がいかに大切かを認識し、行動を起こし具体化することを私も応援していきます。今から4年前に久米島に旅行したこともあり、保養にふさわしい場所だと思います。また行ってみたいです。(60代)

今後、被曝の問題にかかわっていく手がかりを得ることができました。(50代 男性)

大変勉強になりました。できるだけ支援させていただきたいと思います。(40代 男性)

日本と東京電力の、そしてその利益に群がる企業、マスコミにそんなにお金が大事ですか？と言いたい。何より大事な命のことを考えるのが正しい！！と、またあらためて思います。再稼働は必要ない！！火力発電、他で十分足りているではないか！(50代)

政府の言うことを鵜呑みにしてはいけない。こういう運動をしている人達がいて良かった。(60代 女性)

現場を生きている方々の生の声を聴くことができまして、富塚悠吏君の元気な声が光っていました。ありがとうございました。(50代 男性)

5年、10年後のこの国のかたちはいったいどうなっているのか。政治家にまかせていたら、本当にとり返しのつかないことになってしまいますね。私一人ではとても非力ですが、自分にできる限りのことをやって、後悔しないように生きていこうと思いました。(40代 男性)

これからの重い課題を改めて痛感しました。通訳の方の日本語が一言一句耳に入りました。素晴らしい語りでした。(70代 女性)

ベラルーシからのお二人の具体的な体験のお話、とても貴重です。感謝します。これから先の私たち、当事者としての、また支援者としての「何をすべきか」「何をしたらよいか」ということがわかったように思います。とくに「サナトリウム」の大切さは初めて実感しました。物理的な免疫力回復の面と、他の友人たちとの交流による心の回復、きっとこれからこういう取り組みがとても大切になってくるの

だろう、と思いました。何らかの形で協力していきたいです。(40代 女性)

講演ありがとうございました。興味深いものでした。想像していたよりも来場者の年齢層が高く、日本、世界の未来にかかわるテーマなだけに、より若い世代の多くの人に来てほしかったと思います。大学で開催なのに大学生は殆どいないんですね...残念です。私は朝日新聞で開催を知りましたが、もっと「こんな話はじめて知った」というような人達へのアピールをぜひして欲しいです。(照明は落としてありましたが、ライトが目に入り、前半のスクリーンはとても見にくかったです)(30代 女性)

被災地である福島に住民を戻すような雰囲気はすごく気になっていました。今日の講座を聴いてははっきりしました。人々の郷里への想いをかきたてる政府や、それを後押しするような手法をとるマスメディアへの憤りがあります。しかし、政府や政府機関に頼らず、被害を受けた人々の立場に立って、前向きに支える活動を知ってよかったです。(60代 女性)

福島県出身です。1年前は京都におり、小さな子どもがいる福島の友人たちをに2週間サイクルで滞在してもらったりしていました。保養所でした。夏休みだけでしたが。また、避難してきている方々との交流のボランティアや、市民測定所設立のボランティアの情報を見ていました。自分にできることをしていきたい。また、一人でも多くの方に関心を持ってもらい、自分にできることをそれぞれが実行する社会に貢献したいです。(30代 女性)

具体的に本人から話を聞いて非常に参考になった。自分が原発に対して何を市民としてなすべきかの方向性を考えさせられた。再生可能なエネルギーを求めつつ、反原発をすすめ、東北の被災者のためにどう行動するか、そろそろ決め実行していこうと思う。しかもその事のみでなく、一市民としての地域での活動を考えながら。(60代 男性)

チェルノブイリの年に子どもが誕生したので、人事には思えず気になっていました。そして、日本での昨年の出来事。脱原発を今、真剣に一人一人が行動していく時だと考えます。(50代 女性)

何も知らなかったの、とてもよかったです。(70代 女性)

いつも受身であることに気がつきました。自分にできることを行いたい。(70代)

参加して本当によかったと思いました。長いこと「チェルノブイリ」は、いろいろな時に知ることがありましたが、その後の事すべてに理解の整理ができたように思います。福島が本当に心配ですね。(広河隆一様の体が心配です)(60代 女性)

チェルノブイリ事故の時に被曝したのではなく、その後生まれた子どもが遺伝的に先天性異常を持っていることがあるとの話はおどろいた。(50代 男性)

ガレキの広域処理が心配です。様々な視点から、フクシマの子どもたちの救援を考えていかななくてはと思っています。(50代 女性)

もっともっと放射能のこわさを学ぶべきだと思う。これだけの事件が起こった割に多くの人は関心が薄い、これをどう広げてゆくかがこの講演を聞いた人々の役目かなと感じました。少しでも役立つ様にしたいと思います。(70代 男性)

講演と広河さんの発表が特に印象深かったです。(30代 男性)

ポホモワさん親子の生の声を聞いて良かったです。また、他の発言者の方々のそれぞれの立場の意見が良かったです。広河さんの相手に細やかな配慮、思いやり、姿勢に学ぶ点が多かったです。(30代 女性)

日常生活で知ることのないことを教えていただきました。自分の頭で何をしていくか整理していこうと思います。(60代 女性)

何かをしなければという思いです。沖縄のプロジェクト、心から応援したいと思います。(60代 女性)

子どもたちの未来のために考え続けます。今日はありがとうございました。(30代 男性)

自主的に調べていた知識と現実とのギャップに驚きました。非常に貴重な機会をありがとうございます。(30代 男性)

いろいろ考えさせられることが多くて、頭の中に入り切れない感じです。(60代 女性)

様々な所で気になっていたことが明らかになり、学ぶきっかけになった。(30代 男性)

ベラルーシ在住の方のお話を聞くことができ良かったです。

ワレンチーナさんとオリガさんお二人の話は当事故の真情にあふれ、説得力がありました。今は自宅で少し読書をすべきか、等とまよったのですが、矢張り来て良かったと思いました。関係者の立案、設定、実施の努力に敬意を表します。広河さんの静かに語られた言葉、深く心にしみました。(60代 男性)

1)ポホモワさん、そして娘さんの話は胸を打つものでした。こうした「まともな」お話を、静かに多くのものが聞くようにしたいです。 2)広河さんのお話も行政の方々、マスコミ人、皆さん耳を傾けてください。(60代 女性)

福島の写真(武藤さん)の写した昆虫の写真もよかった。福島の人たちが、自分たちの地元を愛おしく思っている視線がよくわかった。ベラルーシから病気を持つ子どもの母親たちの気持ちが伝わるお話だった。これから福島で「どんなことが起こるか」心配なのでとても参考になった。(40代 女性)

とてもよかった。(50代 男性)

都民投票の活動をしております。憲法、米軍基地、犠牲のシステム、諸々のこと、また自然観や日本民族というものを、改めて知らないことの多さをバネにしたいと思います。ありがとうございます。(30代 女性)

今後も自分ができる支援をしていきたいです。(60代)

貴重なお話ありがとうございました。(20代 男性)

チェルノブイリの事故から10年以上経ったことに驚きながらも、今回のような講演会をまた開催していただき、いつまでも忘れないようにしたいものだと思います。(30代 女性)

ささやかでも一人一人の協力行動が今後の日本を作るのだと痛感しました。(60代 男性)

どんなに辛くても生きてゆく！すばらしいと思います。彼方に追いやることなく...いつも引きずって生きていこう！(60代 女性)